

演習 I

担当者 加藤 司

開講時期 通年 単 位 4

●講義の概要

商業、流通に関して近年注目されているのは「チェーンシステム」の観点であり、一つは多様な小売業態の経営を支える共通の基盤としてのチェーンオペレーション、もう一つは取引先である卸売業、メーカーまで遡るサプライチェーンの分析枠組みである。それを基礎に、ICTの変化、グローバル化など、環境変化に合わせてダイナミックに変化する商業、流通の背後にあるメカニズムを理解することを狙いとする。

●講義の到達目標

商業、流通に関する最近の論文、文献研究を通じて理論的問題を理解するとともに、フィールド調査を通じて実務が直面する課題を理解する。その中から、自らの問題意識を明確にしつつ、修士論文の作成に必要な基礎的能力と専門知識を修得する。

●講義計画

前半は、商業、流通を分析する基礎的理論、分析枠組みを修得する。後半は、そのうえで各自の問題意識に沿ったフィールド調査、発表を行い、相互の議論を通じて、修士論文のクオリティを向上させる。

●成績評価基準と方法

- ①チェーンオペレーションについて理解したか。
 - ②流通の理論的枠組みを理解し、現状の変化を説明できるか。
- 以上の評価基準に基づき、
- ①授業での発言など参加度 20%
 - ②レポート 80%
- を総合的に評価する。

●テキスト又は参考文献

加藤 司著『日本的流通システムの動態』千倉書房、2006
その他、必要に応じて文献を紹介する。

●受講上の留意点

予習と復習を怠らない。授業中は授業に参加し、積極的に質問や意見を発言すること。